

「千葉市中央区 80・50を考える会」

令和6年度 活動報告会

令和7年1月28日

加藤 聡子

8050問題とは

80代の高齢の親と、50代の働いていない子どもが
外になかなか助けを求められないまま過ごし、
親が介護状態になったり、亡くなったりした後に、
子どもが生活できなくなる問題

このような状況の方を中央区から一人でも減らしたい！

→中央区80・50問題を考える会を立ち上げました

目的

2021年度～2023年度

8050問題を抱えるご家庭を早期発見し、
地域で支える**仕組みづくり**を行う



当事者の方を対象に**社会参加へ向けた啓発活動**を行う

※社会参加＝就労、外へ出るという狭義の意味ではない

事業概要

8050問題を抱えるご家庭に対して、
支援を受けることで、社会参加できるということを知って頂き、
社会参加へ一歩踏み出していけるよう支援する

- 社会参加へ一歩踏み出すための事例集づくり（WEB媒体含む）
- 啓発活動（講演会、勉強会等）

活動実績

第1回	4月	17人	今年度の活動内容、事例集の検討
第2回	5月	17人	事例集の検討
第3回	6月	16人	事例集の事例・講演会について検討
第4回	7月	16人	事例集の事例・講演会について検討
第5回	8月	18人	事例集・講演会について検討
第6回	9月	17人	講演会の準備
9月28日		150人	講演会【8050問題を考える会講演会】 会場112人、オンライン38人

活動実績（中間報告会以降）

第7回	10月	15人	事例集の検討
第8回	11月	18人	事例集の検討
第9回	12月	16人	当事者の方との勉強会
第10回	1月予定		事例集の検討

目標の達成度・成果等について

◆事例集について

- 今年度中の作成を目指したが、内容について盛り込みたい内容が多く、当事者の方にお話を伺うことで、方向性を変更した
→今年度中に作成し、来年度に印刷となる予定

◆講演会について

- 予定通り、目標達成できた。
- 今年度は、これまでと異なるエリアで行ったことで、新しく地域とのつながりができ、一層啓発が行えた。

付帯条件に対する取り組みについて

- 1． 前回事業との違いを明確化するとともに、今回の事業目的に主眼をおいた事業内容とすること
- 2． 当事者目線に立った視点で、事業に取り組むこと

事例集について

◆千葉市内にある当事者会への聞き取り（１）

- ・当事者会（親の会）の高齢化
- ・親が介護施設入所、他界等で、会員数が減少
- ・講演会へ行くことも難しい家庭もある



子ども（50）が突然の大きな環境の変化にさらされている
80代という狭い対象ではなく、60代に向けた啓発が必要

◆ 千葉市内にある当事者会への聞き取り（２）

- お子さんとの過去の関係がいまだにフラッシュバックし、辛い
- 長い時間をかけて、今の関係をつくってきた
- 本人たちは、さぼっているのではない
最大限の努力をしているということを理解してほしい
- 当事者に向けてはもちろんだが、一般の方に理解して欲しい
一般の方に理解して頂くことで、社会参加へ踏み出せる



情報を必要としているのではなく、理解してもらえる人、場所を求めている

当事者の方へ**向けて**ではなく、**一緒に**活動を考えていきたい

対等な立場であることを重く受け止める

主催:千葉市中央区80・50を考える会(中央区地域活性化事業) / 後援:千葉市

はち まる ご まる

8050

問題を考える

講演会&相談会

入場無料

どなたでも参加できます

※オンライン配信あり

13:00~ 受付開始
13:30~14:10 第1部『8050問題と医療』
医師:野々村 司氏
14:15~14:45 第2部『親亡き後の資産管理』
弁護士:拝師 徳彦氏
14:55~16:15 支援機関座談会
8050ケースとの関わり
16:25~16:45 個別相談会

●日時●

2024年

9月28日(土)

13:30~16:45

●会場●

蘇我コミュニティセンター
多目的ホール

千葉市中央区今井1丁目14-43
OJR「蘇我駅」西口より徒歩5分

会場での
当日受付OK!

●参加申込方法●

二次元バーコード、またはお電話にて
お願いします。



事前申し込みの日
9月25日(水)

[https://forms.gle/uM
WXVcHxk3SXMsRC8](https://forms.gle/uMWXVcHxk3SXMsRC8)

※オンライン希望の方は

二次元バーコード(URL)からお申し込みください。

電話:043-445-7733

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター



(駐車場の台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください)

講演会について

8050問題を考える会 講演会

第1部 8050問題と医療

千葉市こころの健康センター所長 野々村司氏

第2部 親亡き後の資産管理

弁護士 拝師徳彦氏

第3部 支援者座談会 8050ケースとの関り



参加人数

◆ 参加人数

会場112人、オンライン 38人 【合計 150人】

2021年 会場104、オンライン69、合計173

2022年 会場134、オンライン45、合計179

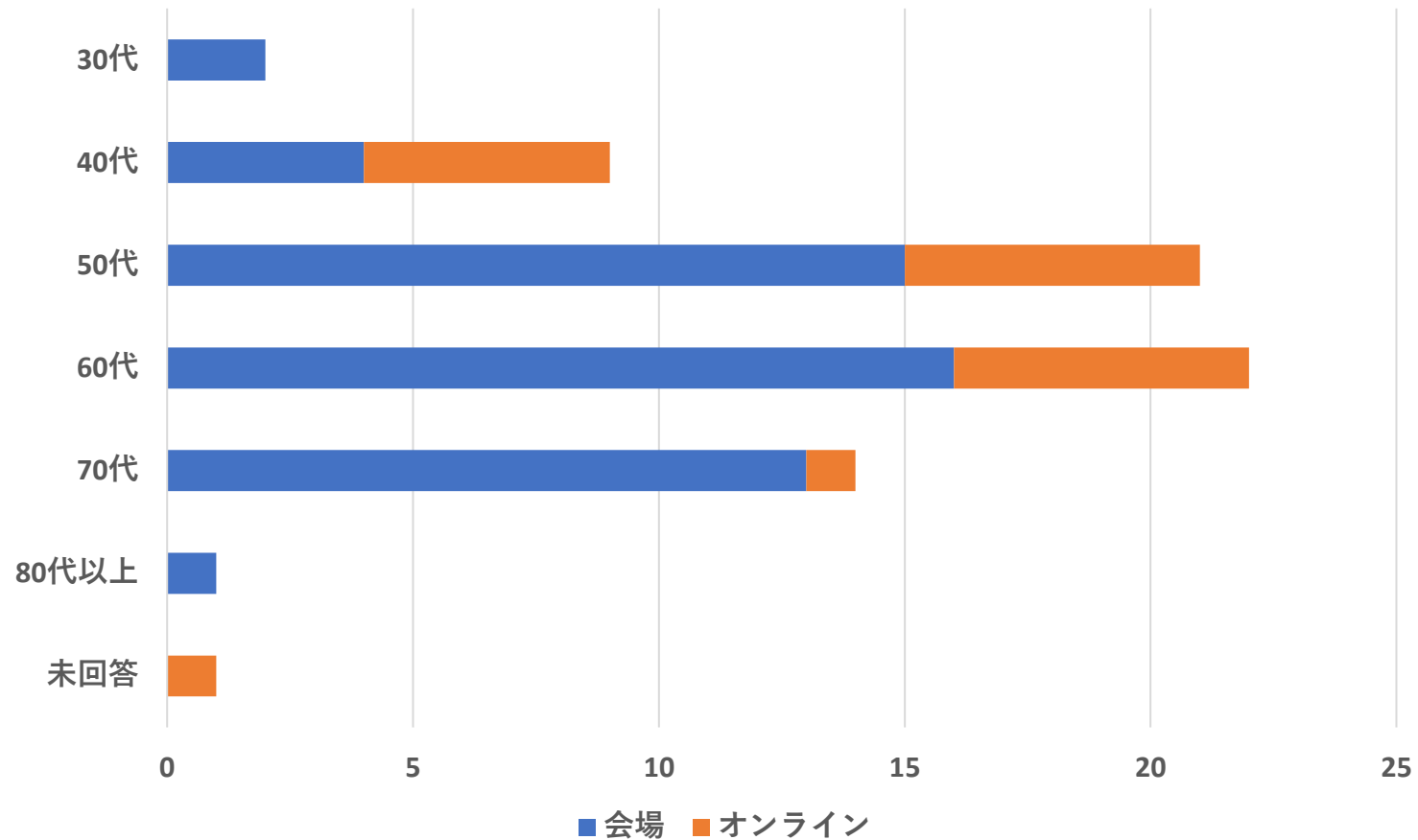
2023年会場88、オンライン64、合計152

◆ 個別相談

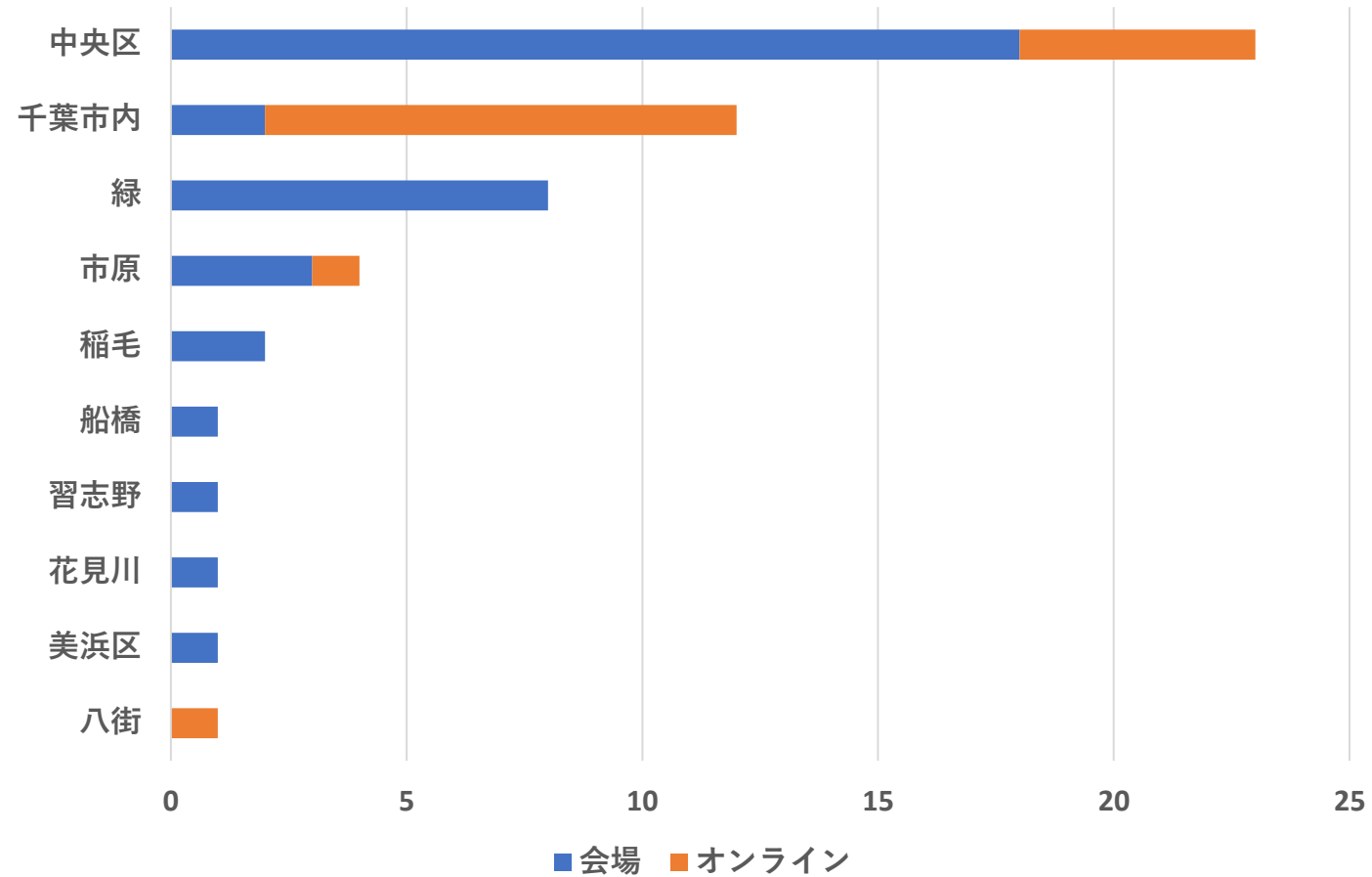
千葉県ひきこもり地域支援センター 3人

中央区障害者基幹相談支援センター4人

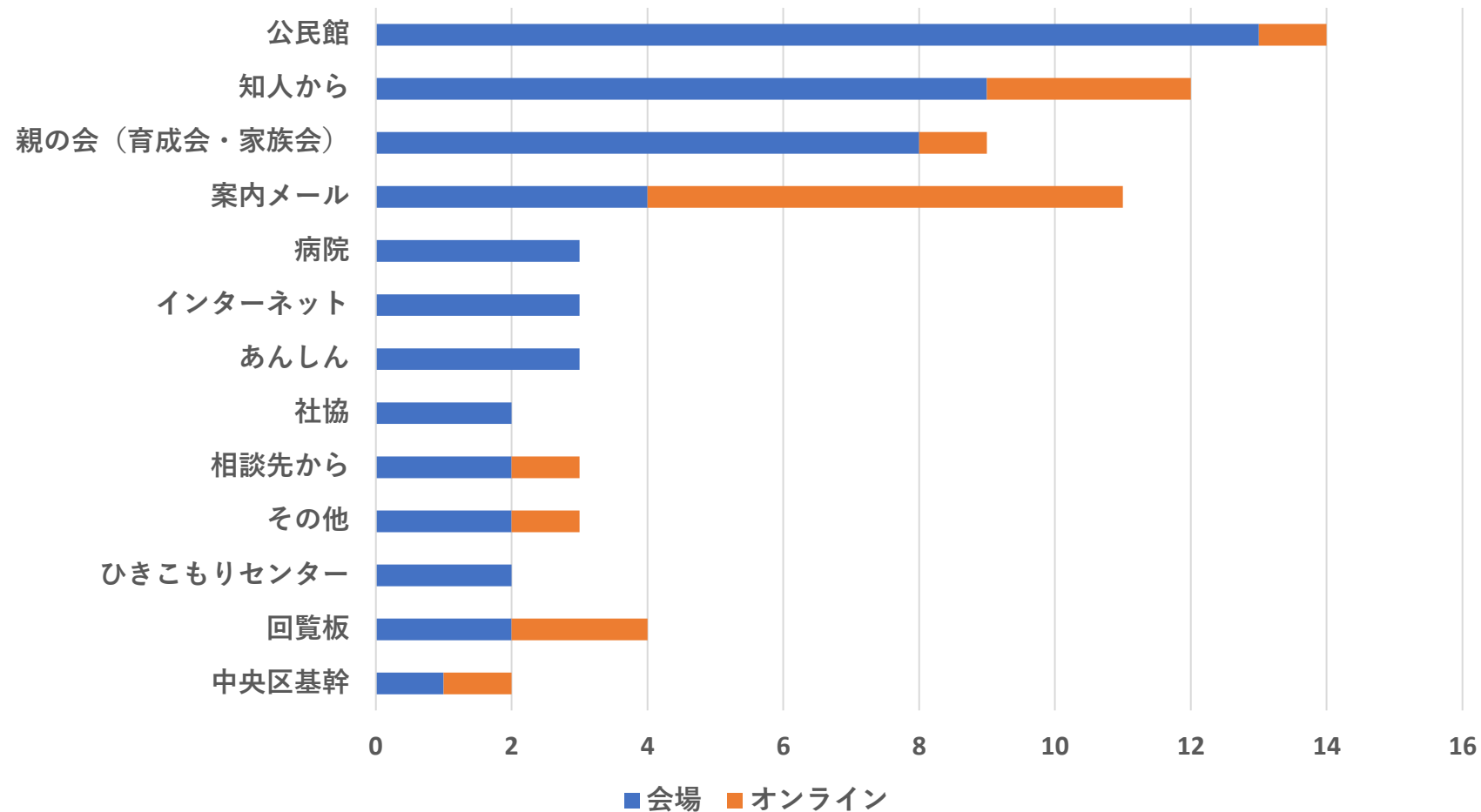
参加者の年齢



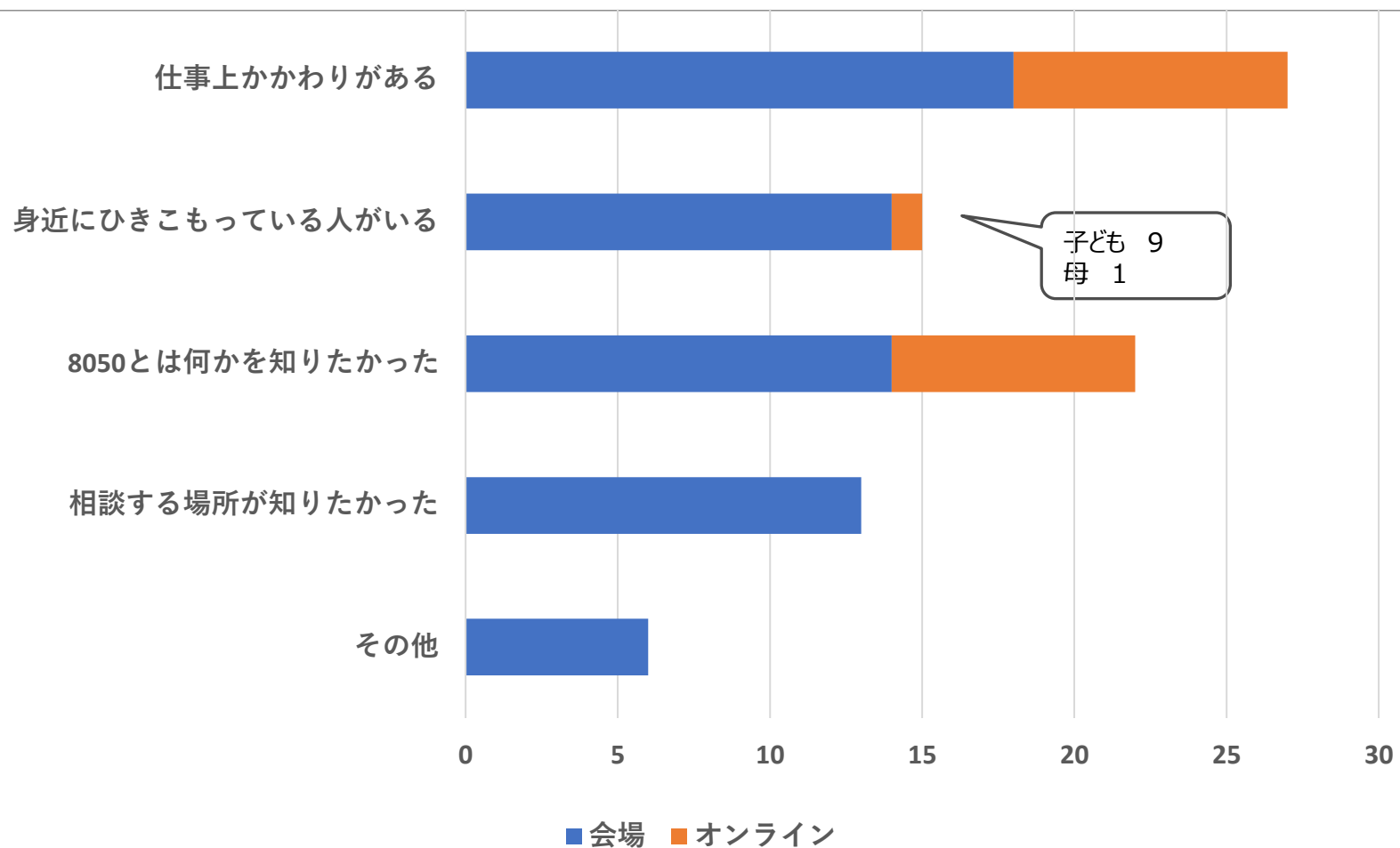
参加者の住所



講演会を何で知ったか



参加のきっかけ



第1部 8050問題と医療

千葉県こころの健康センター所長 野々村司氏

- ・「まともな人」と扱う。
第一群など考え方の基本が分かった。
- ・医療につながるように本人ともよく相談していきたいと思います。
- ・ひきこもりを連れて行く“セリフ”みたいなものもほしかったです。
→座談会でカバーされていました。
- ・ひきこもりの人への医療のかかわり方が分かったことは良かった。
- ・迷路の中にいるような気分だったが、支援の4段階について伺い、また第1段階にも達していないことに気付いた。まずは自分が相談に出向き、医療機関にもかかりたいと思った。

第2部 親亡き後の資産管理

弁護士 拝師徳彦氏

- ・相談をするというのはハードルが高いが、せっかくいらしてくださっても考え方を变える事が出来ず、支援に繋がらない場合も多い。
時間がかかる場合の支援体制をととのえなければと感じた。
- ・相続のこと、お墓のこと、もう早くに考えておいたほうが良いのですね。
- ・現在、自分達の事ですので、お話がきかれてよかったと思いました。
- ・どの様に周りへ伝えるか、説明するかなど勉強になった。医療につながってほしい。
- ・もう少し時間をとって深掘りして欲しい

座談会の感想

- ・各センターのPR、画面に出して説明したらもっと理解できたのに。
- ・総合相談の機能に伴走型の支援が求められている。
公費でないとできないことなので、しっかりと予算をつけてほしいと思った。
- ・さまざまな支援機関がある事を知ることができました。
困った時に相談できる場所がある事で安心しました。
- ・質問したかった事をみんな聞いてくれて助かった
- ・連携する機関がどのように動いているか、よく分かりました。
支援機関の全体像が理解できた。

今後の知りたいテーマ等

- ご本人や家族のお話も聞いてみたい。
こもってしまった理由や、社会復帰するための経緯など。
ひきこもりでの具体的な対応（床屋に行かない、風呂に入らないとか）
- 親亡き後のお金の使い方に自信が無いと言っています。
今のお金の渡し方、管理、相続税について知りたい。
生前贈与（家・金）
- ひきこもりの人達のグループホームなどの入居、施設
ひきこもりの人達の就労成功例など
- 障害のある方の8050問題
親亡き後、親も子供も心配している。

今後の活動予定（継続）

- 事例集づくり（WEB媒体含む）
- 啓発活動（講演会、勉強会等）
- 次年度は、映画会を検討
- 当事者の方と一緒に活動を行うことも検討したい
- 一方で、いまだに精神面で苦しい思いをされている方もいるということを再度確認し、お互いに話し合いながら活動していきたい

ご清聴ありがとうございました